

あいさつ運動とボランティア活動の推進

ねがい

〈 目的 〉

あいさつをお互いにするすることで、自分の存在感を示し、相手の存在感を認めることになる。それによってお互いのつながりができてくる。また、ボランティア活動に参加することで、異年齢の児童・生徒や地域の方とのつながりが強くなる。

〈 内容 〉

つながり

● あいさつ運動

小中合同であいさつ運動をすることはできなかったが、小学校・中学校それぞれが、児童会・生徒会を中心にして児童・生徒に朝礼などで呼びかけて、各校で朝のあいさつ運動を行った。今後は、中学生が小学校へ行き小学生とともに合同であいさつ運動をするような活動も考えていきたい。

● ボランティア活動への参加

基本的に牟礼町内で実施しているボランティアに中学生は参加している。大きく3つあり、1つは地域の大きな行事で（石あかりロード、おいでまい祭り、こーりゃんせ等）、2つめは学校関係の行事で（牟礼北小・牟礼南小のふるさと祭り、牟礼小の夏祭り等）、3つめは地域団体の行事で（道の駅での植栽、お遍路さんのお接待、エルバートン交流会の歓迎会等）がある。昨年は、これらの行事に中学生はのべ615名が参加した。今年度は、小学生も可能な範囲でこれらのボランティアに参加するようにした。

● 小学生の中学校見学

中学校のオープンスクールに兄弟が中学にいる小学生が、保護者とともに授業の様子を見学に来て興味深く授業の様子を見ていた。今後は、中1ギャップを少しでも軽くするために、できるだけ多くの小学6年生の中学校見学を考えていきたい。



【朝のあいさつ運動をしている様子】



【道の駅で植栽をしている様子】

〈 成果 〉

小中学校の連携はまだ不十分であるが、あいさつ運動に取り組んだことにより、コミュニケーション不足によるトラブルが若干減少した。しかし、今後も継続していく必要を強く感じる。また、ボランティア活動への参加は、地域の方からも評価され、常に参加することを期待されている。

高まり